

●おてだま情報誌●第24号●2006年7月13日発行 [季刊]

NO.

24

2006年7月

おてだま

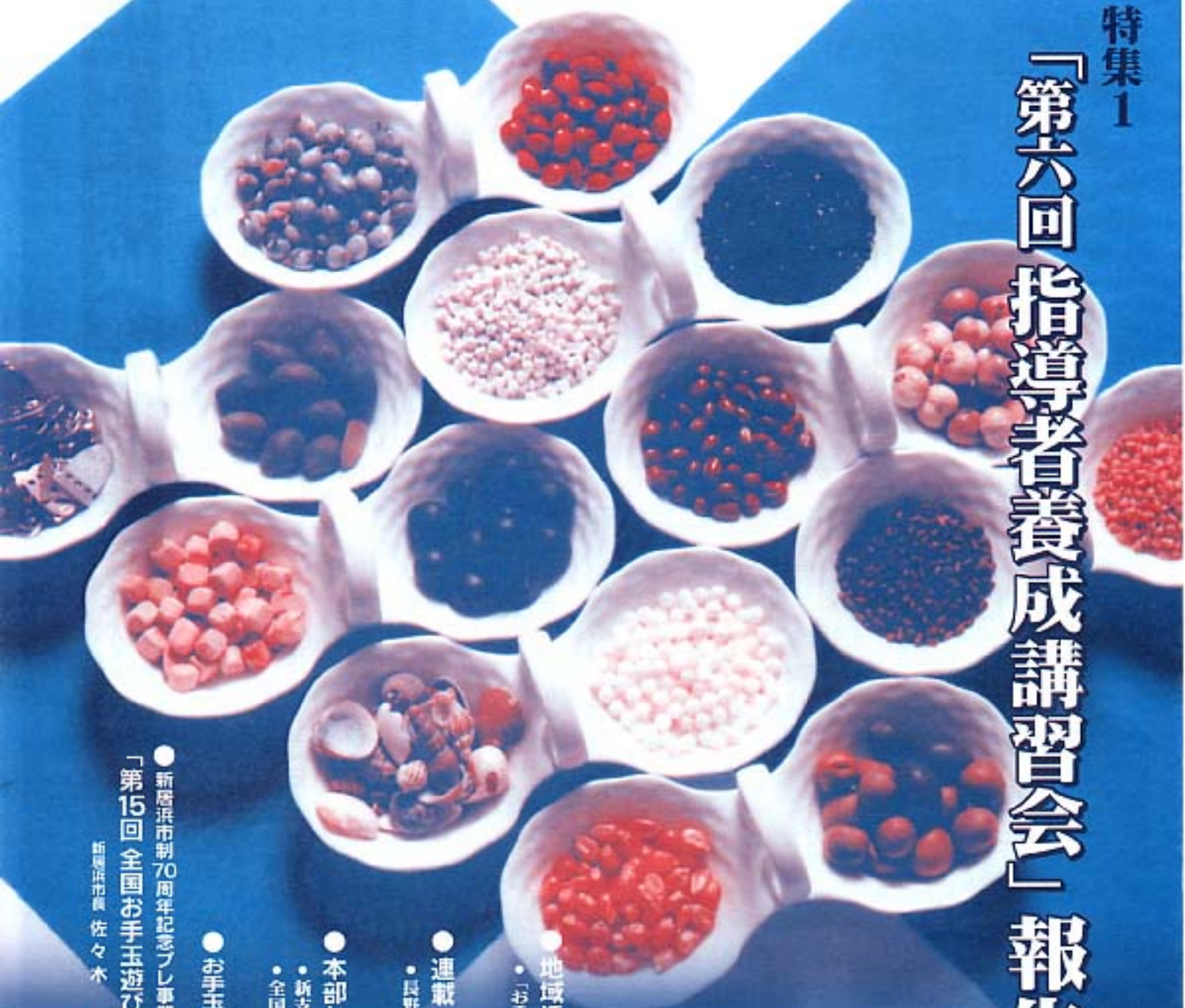
OTEDAMA CLUB IN JAPAN



特集1

「第六回指導者養成講習会」報告

……2~4



●地域活動……………5

●「お手玉遊び兵庫県大会」西宮支隊

●連載 各地のお手玉歌 ……6

●長野県信州地方のお手玉歌

●本部からのお知らせ ……7

●新支部の紹介

●全国支部長会議報告

●お手玉の前身「素球堂真」の解説 ……7

●新居浜市制70周年記念プロジェクト

「第15回全国お手玉遊び愛媛・新居浜大会」

新居浜市長 佐々木 龍「心を縫ひ」 ……8

「第六回 指導者養成講習会」報告

参加いただいた皆様のご感想・ご意見の一部をご紹介します。

『新しい試みもありました。』

平成十八年三月二十五日～二十六日の二日間「第六回指導者養成講習会」をリールホテル新居浜、アクアガーデンの間に開催しました。北は北海道、札幌から南は宮崎、高千穂まで二十八道府県、五十七名の参加をいただきました。

講習会では、日本ケアピクス研究会代表、ケアピクスの考案者であります浦口晶恵先生をお招きし「健康づくりで豊かな生活を」をテーマにお手玉を使った楽しいウォーミングアップで幕を明けました。

その後お手玉の基本、技への挑戦、今村

シメ子師範代による介護施設でのリハビリ

お手玉遊びの指導がありました。また、講習二日目には、はじめての試みとして、布の裁断、とその秘法を天野副会長、そして小さい布との出会いから魅力を発揮する色の不思議、実生活への生かし方等を増原理事に担当していただき好評を博しました。

広い地域からの参加、交流会では地方の遊びや芸達者の方々と交流させていただきました。鳥取のとても優雅で奥深くしなやかな紗技にうっとりしたひと時でした。

お手玉の原点「心のふる里」新居浜へ

鳥根県 高木 文字さん

「お手玉の原点、心のふる里」新居浜へ。そんな嬉しい気持ちで喜びいっぱいの夢を抱いて、楽しみに講習会に参加しました。(わたしの心の底には、お手玉に縁をいただいた、敬慕本教授のお姿が浮かびます)お手玉で出会う全国レク大会での二日間これが私のお手玉に熱中する出発点となる。今回はこの瞬間を大切に生かせるように、見聞するすべてを吸収して帰りたい。藤田会長様の情熱溢れる素晴らしいお手玉の「指導」深く広く世界的視野に立つてのお手玉の「研究」豊富な内容で奥深い「指

導にすっかり魅せられてしまい、「やっぱり来なくては分らない」「お手玉の研究は、どことん進んでいる！」そして奥深い「指導の中には、人生の生き方、尊重まで教えられる、より生きるよろこびとお手玉道への力強さと、パワーがいっぱいいただける。次回は絶対友人たちを参加させたい。

「ケアピクスお手玉」では、明るく新鮮で思わず体が軽くなるような楽しい「指導」でした。「ピリお手玉」は、現場から生まれたい「指導」したい「指導」で、明るい笑顔と共に、レパートリーの多いのには頭が下がりました。特に今回の目玉「企画と呼びたい」布の裁断と「色の不思議」では、具体的に然る実用化できるように、その秘法まで体験できたことは、自信に繋がるすばらしい「指導」でした。また、色の不思議では生活環境と心のケアに結びつく、沢山のヒントを含んだ「指導」で、まるで美しいお手玉が空へくまを舞うようでした。「競技と審判」では、厳しさとお手玉ゆえにできる楽しさを教えていただき、心ホクホク。四〇グラムの玉ちゃんを通して「そんな繊細な体験や交流で、たくさんのお手玉の魅力を、うんと生命力まで授かったと思います。ますますお手玉の魔力に魅せられてしまいました。今後、講習会まで学んだ教々を生かしながら仲間と共に、一歩でも前進できるように、お手玉道に邁進したいと思えます。ご親切な「指導」をありがとうございました。

参加県



▲審判講習です。皆さん少々緊張気味...

▼布の裁断。皆さん真剣です!



「お手玉の原点、心のふる里」新居浜へ。そんな嬉しい気持ちで喜びいっぱいの夢を抱いて、楽しみに講習会に参加しました。(わたしの心の底には、お手玉に縁をいただいた、敬慕本教授のお姿が浮かびます)お手玉で出会う全国レク大会での二日間これが私のお手玉に熱中する出発点となる。今回はこの瞬間を大切に生かせるように、見聞するすべてを吸収して帰りたい。藤田会長様の情熱溢れる素晴らしいお手玉の「指導」深く広く世界的視野に立つてのお手玉の「研究」豊富な内容で奥深い「指

日本のお手玉の会「第六回 指導者養成講習会」を終えて

日本ケアケア研究会代表
瀬口 晶恵さん

先ずは、第六回指導者養成講習会にお招きいただきましてありがとうございます。

お手玉の深さに触れ、有意義で楽しい一日間でした。

私は、お手玉が全く出来ません。子どもの頃も遊んだ覚えがないのです。片手、側ゆり：「そんなのどんでもない！」しかし、参加の皆さんはいとも簡単にお手玉を操っているではありませんか！私は、「これを「お手玉に取る」というのかあ！」(笑)と感心しながらも皆さんのお手玉に対する想いと真剣さに魅了されていきました。

人は、一生懸命に純粋に何かに打ち込んでいる姿を見たと感動します。その人の世界に引き込まれていきます。私は、まさにそれでした。

そして、こんな私でもゆりには片手二個ゆりが六回できるようなったのです。(その時は、本当に嬉しかった！)これも「お手玉の会」の皆さんのおかげです。ありがとうございます。(特に特訓してくださった理事の村尾さんに感謝です。)

その時気づいた事があります。それは、丹田です。私は、細く長く、氣功をやっています。今回の講習会の中にも氣功を取り入れたケアピクスを紹介させていただきました。氣功も丹田をととても重要としています。私たち体の中心(コア)なのです。(注：丹田の場所は、おへそから指三〜四本



▲色の不思議の講話です。

▼皆さん元気よく体をほぐしましょう。



「第六回指導者養成講習会」の感想

和歌山県和歌山市 森 勝代さん
念願の指導者講習会に参加でき、たくさんの知恵と元気をいただきました。本部の方々のご苦勞と準備のおかげで、二日間充実した講習を受けることができました。ありがとうございます。若い男性の方の参加があり、お手玉に興味があるということに力強いものを感じました。

瀬口先生の端切れのよい口調でのウォーミングアップは、とても気持ちよく参加できました。藤田会長さんの歴史と効能のお話は、わかりやすくまとめてくださっていました。県立図書館の展示ケースに、私の持っているお手玉の展示とお

したの下腹にあります。女性は、着物の腰紐をぎゅつと締めますが、ちょうどそこに当たります。腰紐がしっかり締まっていなくて着崩れを起してしまう：肝心なところで、上手玉が下手な私は、気が焦り：上で取ろうとしてしまいます。気が上上がり！地に足がつかないのです。

そこでいただいたアドバイス「もつと下での深さを知りました。」丹田の場所でお手玉を取るから！無心になれ、気が落ち着いてくる。のでは、ないかと考えたのです。それと「お手玉は、二の腕に効く！」ことも解りました。神習の後は、二の腕が筋肉痛を起しています。

最後に、この講習会でとても素晴らしい

「伝承文化」に触れることが出来ました。お手玉を通して、この会を通して「やさしさ」「感謝の念」を伝承する：ということでした。水六輔さんの詩「生きていく」ということは「生きている」ということは：(中略)：誰かにそうしてもらったように、誰かにそうしてあげよう：：があります。それを思い出して「これが多くの方に伝承されれば、もっとみんなが幸せになる。社会がよくなる。」そう感じました。

私たちがケアピクスも同じです。「お互いに感謝しあい、生きていく。みんなと共に！」これからもお手玉の会のみなさんと共に生きていきたいと思えます。お手玉万歳！

今村シメ子さんのお手玉の技術に感動しました。カーリングやかご入れは子どもも大人も笑いがいっぱいになりますね。お手玉作りの色の配色の勉強も楽しかったです。おいしいお料理をいただきながら、全国の愉快な仲間との交流会や真剣に審判したことの光景を今も思い出しています。明日の「なな」の会の例会で報告して、第十五回全国お手玉遊び愛媛・新居浜大会に複数で参加できるようにさそってみようと考えています。ほんとうに、いろいろお世話になりました。



「第六回お手玉指導者養成講習会」の旅を通して

札幌 吉澤 智之さん

西行法師の詩や、藤本教授の論文に感動し「第二回野外伝承遊び大会」でお会いして半年。お世話になった武田さんやお手玉研究伝道師である後田啓子さんらに感激の再会！今回、多くの方々にお世話になりました。

子供の頃、大好きなおばあちゃんから受け継いだお手玉を通して歩んできた幸福人生、苦しいときいつもお手玉がお守りになっただけで支えてくれた。

「地域の先生」等の伝承活動の傍ら、映像や舞台美術でお手玉の豊かな文化・歴史と精神を伝える自作組曲劇団「ことたま座 村祭り」(環法)の活動。「お手玉に救われた人生」DVDに込めたお手玉と皆様への感謝を交流会で発表し、大変温かい拍手を頂きました。

おばあちゃんと僕との関係が「隔世伝承」の一単位であったように「一人一人の個人的なドラマが積み重なって人類の歴史(お手玉史)ができた事実を告白したい」と、豊かな心と文化を普及する全国の指導者の皆様に平成時代の生き証人から感謝の報告ができた感激です。

これからの時代、本当のコミュニケーション革命とは素朴な愛と笑顔の通信具「お手玉遊び」に戻る事のような気がします。

「ハビリお手玉」「色と色の出会い」等大変面白い講習内容。瀧口先生指導の名曲「花」の全身運動には「大自然の間の中で生かされている」詩の情景が浮かび心身ともに癒され、藤田さんの「結びおしなご」に鈴払いのような音色を、「明」の文字の日と月の陰陽結合など多くの教えに梅(吉

代人が字に込めた本来の想い)をおもすび(言葉)に返すような現代へのメッセージを、藤田会長のお手玉に「かわいね」の声かけに「手から心へぬくもりを」の温かきを感じました。

アメニティハウスで触れた実物の「羊の骨」、ギリシアからシルクロード、アジアを通過して幸せ(四枚合わせ)布お手玉へ。

国境や世代を越え伝播、親しまれたお手玉の旅路に「愛とぬくもりはどんな兵器よりも強い事」を確信。

若い世代がなかなか触れる機会がない「拾い技」も勉強になり、帰郷後おばあちゃんに今村・川元両師範代らの「おひとつおふたつ」の様子を見せたらとても懐かしそうに喜んでくれました。素晴らしい旅をありがとうございました。



▲鳥取県に伝わるお手玉遊び披露。

●神戸 前田 敦子さん

今回指導者養成講習会に参加させていただき、大変勉強になりました。

私は七〇歳になってから、お手玉の魅力に取りつかれて、地域の公民館や児童館、幼稚園、保育園、福祉センターなどで、皆さんに支えられながら指導する立場になってしまいました。この奥深いお手玉あそびには、何処へ行っても大変喜ばれておりますので、私自身も楽しく遊んで楽しんでおりますので、私自身も今年度の公民館の発表会で昔遊び「お手玉」の説明と基本の動作の後に両手三個ゆりまでと「うれいしい餅祭り」と「青い目の人形」歌に合わせてお遊戯を披露しましたらそれはそれは大変好評でした。

それからずうっと「素晴らしいでしたよ」と褒められて、今年度の公民館グループ活動のメンバーも増えました。

そんな嬉しい、いい気分が指導者養成講習会に臨みましたが、交流会でお遊戯を披露したら、これが、また皆さんに褒めていただき、終わった後、ホテルで「教えて下さい」と頼まれて、それはもう本当に嬉しくて最高の気分になりました。

●四国中央市 渡邊 美保さん
お手玉を始めたばかりで、二個ゆりぐらいしか出来ませんが、今日の講習でお手玉の歴史から始まり、色の不思議などとても勉強になって良かったし、他の方ともお話が出来コミニケーションがとれました。

●奈良市 田井 三津子さん
年齢を重ねてやっとなりの好きな事が出来、参加させてもらっています。

楽しくて心が若返ります。素直な気持ちになれる自分がうれいんです。「されどお手玉」奥の深さに感服しています。知らないことを知る喜びに胸おどらせています。

●岡山 廣川 弘恵さん
基本の技、考え方、ルールなどを学ぶことが出来、指導する心構えや精神をしっかりと教えていただきました。

●長野県上伊那郡 龜山 理治さん
初めての参加で理解するのに大変でした。七〇歳になつての手習いですが頑張つて女性パワーをいただいたりやっつて行きたいと思つています。

●岡山 藤原 忍さん
お手玉を多数作るときの裁断に困っていましたが、ヒントをいただきました。色合わせの大切さを再確認いたしました。

●鳥取県西伯郡 安藤 幸子さん
とても勉強になりました。これからは明るくきれいな色の洋服を着るようになりたいと思つています。

●四国中央市 西川 昌輝さん
布の裁断で苦勞していたので良いアドバイスをいただきました是非生かしていきたいです。

●尾道市 小林 八重子さん
布の裁断については大変参考になりました。私たちが販売用に手作りして参考になりました。

●岡山 藤原 忍さん
お手玉を多数作るときの裁断に困っていましたが、ヒントをいただきました。色合わせの大切さを再確認いたしました。

今回、新しい試みの「布の裁断」「色の不思議」について。

地域活動

【お手玉遊び兵庫大会】

西宮支部



兵庫県西宮市では、2回目の「お手玉遊び兵庫大会」が開催されました。岡山県や奈良県などからたくさんの参加があり、会場は笑顔と大きな拍手でいっぱいでした。

お手玉する人、観る人、老若男女を問わず、思わずガッツポーズする人、目を輝かせている子ども、世代交流の輪が広がった一日でした。

片手で2つ、両手で3つ……

競え！お手玉の技



お手玉の技術を競う出場者たち—西宮市大観望

西宮で県大会 宝塚の池内君ら「名人」に

お手玉の愛好者たちが技術を競う「お手玉遊び兵庫大会」が29日、西宮市大観望の立五木小学校体育館で開かれた。県内外から約五十人が出場した。

小学生・個人では優勝は

とある。「片手2個（2つ）」の技で優勝した宝塚市立市の池内小六郎、池内大貴君（こは）は「石巻市」の大会からずいぶん練習してきた」と喜びを語った。（風川和也）

ほかの階級の優勝は次の通り。

個人 一般両手4個
ゆり 神戸市江崎区
▽両手3個ゆり1平田
みどり香取市▽片手2個
ゆり 宮崎県平野市
▽両手投げ3個 小野山
片手2個ゆり1津島一
津島市▽両手2個ゆり
川野和也▽両手3
個ゆり1西宮市大観望
▽団体 一般両手5
個の会から「同小学生
高が谷小 優勝也」

▲神戸新聞 平成18年5月29日 朝刊

お手玉、落とせん



お手玉遊び兵庫大会が29日、西宮市大観望の立五木小学校で開かれた。阪神間や神戸、豊岡のほか、県外の香取や大宮、岡山などから観客を含め約100人が集まった。同小体育館では、真面目な表情で続く熱戦に観客の応援が絶えなかった。写真

西宮で大会、400人参加

団体戦は1チーム1人の対抗戦。試合は各チーム1人ずつ出て「両手2個ゆり」や「片手1個ゆり」などの競技を1〜3分ほど、選手が投玉を止めた瞬間、参加者は真面目な表情で「お手玉大会中」、観客が拍手と「お手玉大会中」の掛け声が響いた。

▲朝日新聞 平成18年5月29日



連載 各地のお手玉歌 クローズUP

お手玉の歌

おひとつ おひとつ おろして おたむらひ
 おふたつ おふたつ おろして おたむらひ
 おみつ おみつ おろして おたむらひ
 おみんな おそろひ
 お手しゃみ お手しゃみ おろして おたむらひ
 お手ばさ お手ばさ おろして おたむらひ
 おつりんこ おつりんこ おろして おたむらひ
 お左 おひだり たり左
 中みせ しまみせ ねらひ
 手つしき じゆしめ おたむらひ
 八千代に 八千代に おろして おたむらひ
 お手こがし お手こがし おろして おたむらひ
 おおいし おおいし ちかけて おろして おたむらひ
 おおそで おおそで いかけて おろして おたむらひ
 おおひら おおひら つかけて おろして おたむらひ
 ちごぼこ じゆれ ちごぼこ じゆれ おたむらひ
 おおぼこ じゆれ おおぼこ じゆれ おたむらひ
 八千代に 八千代に たりくれる おたむらひ
 ちゃんきり おかせ

藤田啓子さん、孫さんたちと
 飯田ふるさと講談会



お手玉のことを信州飯田地方では「おしなご」といいます。地域や年代、伝承者によって旋律や歌詞の背景、伝わり方、ルーツなどが違いますが、そこがわらべ歌の面白さでしょう。まさに、わらべ歌は故郷そのものです。単調なメロディーと繰り返し繰り返し意味のよく分からない、おしなごの歌詞。日本の国内でも狭い地域でそれぞれの文化圏を形成していたと思われます。去る6月3日には「飯田ふるさと講談」と題し神田紅師匠による、西行法師の“いしなご歌物語”が飯田公民館で開催されました。南信おしなご会 藤田啓子さんも孫さんたちと舞台登場しておしなごを披露。たくさんの方の拍手喝采を浴びました。

解説/日本のお手玉の会 会長 藤田石根

『表紙の解説』



お手玉の中身といえば、おおかたは「あずき」が「救珠玉」であろうかと思いますが、平安時代に西行法師が詠んだ「いしなご」という名残りで小石を入れて遊んでいたが、手に受けたとき硬くて痛いので、穀物(大豆、あわ、とうもろこし、キビ)などを入れるようになりました。その後、お茶の実やハブ茶・ハスの実など、生活の近いところのものを中身にしました。

また、音を楽しむために貝殻を入れたり、足袋の小ハゼをいれたり、どれも自分の手になじんだお手玉の感触を特別愛しんで、大切に扱っています。

現代は、雨期にカビや虫がつく事があるので、プラスチック型ベレットを使っております。

新支部 紹介

本部からのお知らせ

第50号 長野県伊那支部 「伊那谷お手玉の会」
会長/亀山 福治さん

第51号 岡山支部 「JA岡山お手玉の会」
会長/犬飼 三重子さん

第52号 福岡筑豊支部 「筑豊お手玉の会ポタちゃん」
会長/永水 清子さん

第53号 熊本水俣支部 「ひまわり」
会長/副島 靖代さん



※和歌山県内でも、新しい支部の設立が予定されております。

〔支部名称変更〕尾道支部 お手玉同好会「尾道お手玉フレンド」が「尾道お手玉フレンド」にかわりました。

■全国支部長会議 報告

平成18年3月11日神戸市「ノレス神戸」において、全国支部長会議が開催されました。

全国より日本のお手玉の会役員・14支部から各お手玉の会の代表の方が出席され、(委任状23支部)今後の日本のお手玉の会の運営や、全国お手玉遊び大会の開催について協議されました。

今後の日本のお手玉の会の運営については、平成19年度中を目途とし全国の現在の支部を地域別に6~7ブロックにわけ、各ブロック長様を中心に理事会を構成し全国組織として広い視野にたって運営してゆくことを決定し、本部組織の簡素化、支部の役割

分担、支部中心の活動体制など今後の取り組みについても協議されました。

全国お手玉遊び大会については、当初計画の15年目を迎えることから、第15回全国お手玉遊び愛媛・新居浜大会を集大成とし、第16回大会以降のあり方について活発な意見交換がありました。

ブロック持ち回り開催、毎年開催ではなくとも何年かに1回開催、会員のみでの参加で規模を縮小した大会にして開催、ブロック大会の開催など多くの意見がだされましたが、第15回愛媛・新居浜大会終了後、平成19年度はお休みし、平成20年度より新体制にて再検討することとなりました。

第15回 全国お手玉遊び 愛媛・新居浜大会 開催

～ ぬくもりを届けたい、手から心へ ～



「心を縫う」
新居浜市長 佐々木 龍

市制施行七〇周年プロジェクトとして、五年ぶりにお手玉大会発祥の地・新居浜市で、第十五回全国お手玉遊び大会が開催されます。ことを大変うれしく思います。

全国各地から大会に参加される選手の皆さまを、新居浜市を代表して心から歓迎いたします。

ぬくもり、あたたかさ、おばあちゃん、ゆり玉、縫い糸などお手玉にまつわる言葉は、懐かしく、それでいてとても美しい日本語であると感じています。忙しい現代人が、どこかに置き忘れてしまった言葉なのかもしれません。

今から十五年前に、お手玉文化の復興を掲げて誕生した日本のお手玉の会は、このお手玉のもつ素晴らしいメッセージを日本の各地域へ、そして世界へと発信し続けてきました。

それは、私たちの段風景な心の奥深くへと大きく響きわたるものになりました。年に一度の全国大会は、コンピュータゲームに夢中だった子供たちが、おばあちゃんを相手に目を輝かせながらお手玉の技量を競う大会へと発展し、他の遊びでは決して観ることのできない大きな魅力と感動、そして新しいお手玉文化を産み出しました。この魅力に引き寄せられて、若者男女を問わず、お手玉遊びを楽しむ人が年々全国で増え

てきています。これは誠に嬉しい限りです。

これまでの地道な活動を振り返りますと、その足跡は、あたたかもお手玉を縫うがごとく、多くの人の心を、手づくりで、ひとつひとつに縫っていったものではなかつたかと存じます。小さなお手玉に込められた熱い思いが、永い年月の中でお手玉をする人、お手玉を観る人、お手玉を創る人と、お手玉に魅せられた私達ひとりひとりの感性をおおいに刺激し、そしてまた豊かに高めていったのだと思っております。

終わりにになりましたが、これまで日本のお手玉の会の活動を支えてこられた多くの皆さま方へ、深い敬意と感謝の意を表します。同時に、節目となる今年度の全国大会が素晴らしいものとなり、そして今後ますますお手玉文化の輪が大きく広がります。すこしでも心から祈念いたします。

Welcome to Niigahama

Osaka, a traditional Japanese town, has long been a popular source of pride for the citizens of Niigahama. This is a town that creates traditional lines and can be enjoyed by everyone. The Osaka Association in Japan, centered in Niigahama, has taken up the cause of reviving Osaka and has carried its activities throughout the world. This coming August, the 15th Annual All-Japan Otedama Festival and Tournament will be held in Niigahama. We would be very pleased to have you attend the event. Please, consider celebrating with us by enjoying it as an observer or even as a participant. We will welcome you with open arms.

アメリカで活躍している、日本文化を伝える英字新聞を発行している「Cultural News」に紹介されました。

Mr. Bruce Kaneko, Mayor of Niigahama City, USA's President



8月27日(日)

本大会

- 8:30～ 受付開始
- 9:20～ オープニングセレモニー
- 9:30～ 開会式
- 10:00～11:40 個人戦競技
- 11:50～ 個人戦表彰式
- 12:00～ 昼食
- 13:00～15:30 団体戦競技
- 15:40～ 団体戦表彰式
- 16:00～16:15 閉会式

8月26日(土)

お手玉演舞大会

- 12:30～ 受付開始
- 13:30～15:40 演舞大会

お手玉記念講演

- 16:00～17:30 講演
- 講 師: NPO法人福寿楽レクリエーション協会 代表理事 佐藤 清典 氏
- テーマ:「お手玉遊び」ってすごい!
- 会場: 元来・やさしいのびのびWebひろば

前夜祭

- 17:00～ 受付開始
- 18:00～20:30 前夜祭

お問い合わせ先

日本のお手玉の会・全国お手玉遊び大会実行委員会

〒792-0811 愛媛県新居浜市庄内町1-13-14
TEL/0897-36-0600・FAX/0897-36-0644



【発行・編集】

日本のお手玉の会 会報編集委員会

〒792-0811 愛媛県新居浜市庄内町1-13-14

TEL/0897-36-0600・FAX/0897-36-0644

E-mail:tamachan@otedama.shikoku.ne.jp

ホームページ:http://www.shikoku.ne.jp/otedama/